

# 「成人期の発達障害の診断と心理教育プログラム（発達障害検査入院プログラム）に関する研究」 にご協力いただいた皆さまへ

## 研究計画の変更に関するお知らせとお願い

東京大学医学部附属病院精神神経科・こころの発達診療部では、多角的な評価を通して成人期の発達障害の診断を行った上で、発達障害についての心理教育を行う「発達障害検査入院プログラム」を実施しております。過日には、「成人期の発達障害の診断と心理教育プログラム（発達障害検査入院プログラム）に関する研究」にご協力いただき、ありがとうございました。このたび、研究計画に変更がありましたのでお知らせいたします。これまでに測定したデータを追加で使いますので、すでにご協力いただいた皆さまに、新たにお願いすることはありません。ただし匿名化されたデータの解析が行われることをご了承いただく必要があります。つきましては、下記詳細をよくお読みいただき、ご協力をお願いいたします。

### 【研究課題】

「成人期の発達障害の診断と心理教育プログラム（発達障害検査入院プログラム）に関する研究」

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 研究機関  | 東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野 |
| 研究責任者 | 笠井清登                    |
| 担当業務  | 研究の統括、データ収集、データ解析       |

### 【研究期間】

承認日～2026年6月19日

本研究は長期にわたる研究を計画しています。記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

### 【対象となる方】

2011年1月1日から2025年9月30日までに、「発達障害検査入院プログラム」および「成人期の発達障害の診断と心理教育プログラム（発達障害検査入院プログラム）に関する研究」にご協力いただいた方です。

### 【追加する研究計画の概要】

#### 結果の解析方法：

入院プログラム中の各種検査結果に加え、入院中に診療として担当医が聴取したり、検査を行うなどして、診療録（カルテ）に記載された情報（診断、現病歴、発達歴、生活歴、教育歴、家族歴、既往歴、入院中の経過、血液検査などの結果、服薬歴、入退院時サマリーなど）も合わせて解析いたします。また、2011年1月1日以降、本研究の承認日までに当プログラムにご協力いただいた方で、病院の診療として取得・保存された既存データについても含みます。なお、新たなデータの取得や問診をお願いすることはございません。

### 【研究協力の任意性と撤回の自由】

この研究にご協力いただくかどうかは、研究参加者の皆さまの自由意思に委ねられています。ご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡

絡ください。2025 年 12 月 31 日までにご連絡がなかった方については、ご同意いただいたものとして進めますが、研究期間中に同意撤回のお申し出があれば、本研究への登録を解除させていただきます。

研究にご協力いただけない場合でも、皆さまの不利益につながることはありません。ただし、撤回のお申し出があった時点（撤回日）で、解析、学会発表、論文投稿などがすでに行われていた場合、これらを修正することは困難であるため、撤回日より前にさかのぼってデータを削除したり、解析、学会発表、論文投稿などの内容を修正することはいたしません。あらかじめご了承ください。

#### 【個人情報の保護】

この研究に関わる成果は、外部に漏えいすることのないよう慎重に取り扱う必要があります。あなたの人体試料や情報・データは、分析する前に氏名・住所・月日を含む生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。資料（試料）等は、この研究のために使用いたしますが、もしあなたが同意してくだされば、将来の研究および教育のための貴重な資源として、研究終了後も引き続き保管します。この場合も符号により誰の資料等かが分からないようにした上で、保管します。

2025 年 10 月 1 日

#### 【連絡先】

研究責任者：笠井清登  
連絡担当者：秋山愛子

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学医学部附属病院 こころの発達診療部  
Tel: 03-3815-5411